

## 2020 年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人 胃癌を撲滅する会

## 1 事業の成果

本年度はCOVID19の蔓延により、事業は大幅な変更を余儀なくされた。海外及び国内の渡航移動は制限され、ブータンへの訪問も中止となった。そこでブータンダワカ地区での胃癌リスク群に179名の内視鏡検診を現地JDWNR病院の日本人医師に委託し、3名の早期胃癌と27名の潰瘍を発見。成人（18歳以上）のピロリ菌陽性者629名に除菌薬を無償で送付し、医科大学、保健省との連携によって服用を確認した。服薬後には呼気テスト試験薬を送付し、保健所にて544名の除菌判定を委託し、うち425名（78%）がピロリ菌陰性となつたことを確認した。一方、国内の僻地で働く若年の医師に対しての胃癌撲滅教育活動も開始することを決定。日本および世界各国への早期胃癌発見の為の内視鏡e-learning（60カ国1348名が参加）を無償で提供、新規教育動画（胃癌の内視鏡的切除術）をホームページより配信した。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 7073 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ピロリ菌、胃癌に関する調査研究事業	1) ブータンダワカ地区にて胃癌リスク群に内視鏡検診を推奨。 2) ダワカ地区の18歳以上のピロリ菌陽性者に除菌薬を配布。 3) 服薬後除菌判定を委託	1) 2020年11月 2) 2020年12月 3) 2021年2-3月	ブータン 1) JDWNR病院 2,3) パロ県ドガル区ダワカ地区	30名	パロガダカ地区の18歳以上の住民	約630人	2347
ピロリ菌、胃癌に関する教育研修事業	1) 早期胃癌発見の為の内視鏡e-learningのホームページからの提供 2) 早期胃癌の病診組織診断能を向上するe-learningの開発	1) 2020年4月～通年 2) 通年	1) 世界60カ国(含むブータン、日本) 2) 福岡	1) 5名 2) 3名	1) 世界の消化器医 2) 世界の病理医	1) 1348名 2) 消化器、病理医(数千人)	4525
ピロリ菌、胃癌に関する広報啓発事業	1) ダワカ地区での胃癌撲滅活動をSNSにて配信 2) インターネットを使って胃癌の治療（内視鏡的粘膜切除術）の教育ビデオの無料配信	通年	ブータン全世界	10名	1) ブータン国民 2) 全世界の医療関係者	1) 75万人 2) 数万人	44
ピロリ菌、胃癌に関する学術団体との連絡、及び提携事業	ブータン医科大学、およびJDWNR病院との連携により、ダワカ地区の内視鏡検診を円滑に行つた。	2020年11月～3月	ブータン	30名	ダワカ地区18歳以上の住民	20名	122
ホームページの運営事業	当団体の活動報告と教育ビデオの配信をホームページ及びSNS配信を行つた。	通年	東京、福岡、大分、ウイーン	10名	インターネット可語解全英語を理解する世界人	数千人	35